



大妻福祉 NEWS 2022 Vol.27

2022 年 秋号

2022 人間福祉学科 7つの履修モデル紹介

介護福祉モデル

〔人間福祉学科 教授 原野 かおり〕

大妻女子大学人間関係学部人間福祉学科には、7つの履修モデルがあります。

今回ご紹介する介護福祉モデルは、社会福祉学の基本理念を学びながら介護福祉士国家試験受験資格を目指します。介護福祉モデルの学生の多くは社会福祉士国家試験受験資格とのダブルライセンスを目指しています。介護予防から看取りまで多様なニーズを有する人々への支援には、豊かな知識、技術および、マネジメント能力のある人材が求められています。

介護福祉モデルでは、4年制大学で介護を学ぶという特徴から、養成課程のカリキュラムに加え、一般教養や、社会福祉学、外国語科目等、教育の質が担保されています。他にも、大妻マネジメントアカデミー（OMA）、インターンシップ、留学プログラム等があり、将来的にリーダーとなる人材を育成しています。

大妻女子大学では、クラス指導主任制や少人数制のセミナーがあり、教員に相談できる機会も多く、安心して大学生活を過ごすことができます。



生活支援技術（環境整備）

2022 年度 オープンキャンパス情報 *多摩キャンパス

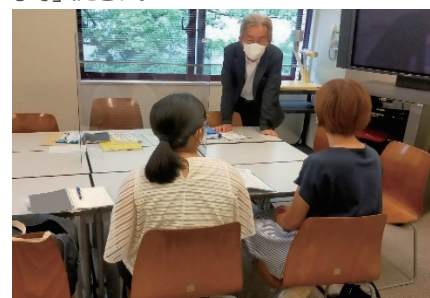
10月30日(日) ⇒ 個別相談実施
(教員・学生の個別相談)

【学生による個別相談もあります】

多摩キャンパスでは、**個別相談を実施**します。個別相談のブースを設け、高校生や保護者の皆様の不安など解消できるように準備しております。先輩学生も参加をします。

大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉学科

実際のキャンパスで「見て」「聴いて」「体感して」ください。



左記日程以外でも、**11月27日(日)に千代田キャンパスで個別相談**を行います。どうぞお越しください。〔個別相談では、感染対策を徹底して行っています。〕**人間福祉学科は1学科制**（これまで、人間福祉学専攻と介護福祉学専攻の2つの専攻がありました）になり、今年で4年目を迎えました。**より学びやすく、なおかつ進路を選びやすくなりました。**（定員は100名）

国家資格である**社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士**(30名養成)については、引き続き必要な科目を履修することで国家試験受験資格を取得できます。

「未来の姿：地域ケアプラザ」



寺田葉子さん(右から2人目)
勤務先：社会福祉法人 若竹太寿会
横浜市東寺尾地域ケアプラザ
地域交流コーディネーター
取得資格：社会福祉士

大学卒業後、4年間医療ソーシャルワーカーとして勤務し、現在は社会福祉法人 若竹太寿会 横浜市東寺尾地域ケアプラザにて、地域交流コーディネーターとして働いています。

私自身、入学時には社会福祉士がどのような専門職なのか、就職や就職後のことまでは考えていませんでした。はじめは、「とりあえず社会福祉士の資格が見込めるから」という思いでしたが、ゼミの仲間や先生との授業や実習を通して資格取得を目指し、みんなで受験を乗り切りました。そんな私ですが、今は社会福祉士の資格が後押しになり、興味のある分野への転職やライフスタイルの変化に合わせた就職先を選択できています。

今やりたいことがわからない方にこそ、将来のために役立つかもしれないという気持ちで資格取得に向け、取り組んでみてはいかがでしょうか。

お問い合わせ先

大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉学科
〒206-8540 東京都多摩市唐木田 2-7-1
電話：042(372)9198
FAX：042(372)9202

(問い合わせ) 下記の入試担当教員まで
kim@otsuma.ac.jp (金 美辰)
ueno@otsuma.ac.jp (上野優子)

「教えて先輩：福祉実習」



人間福祉学科 3年 藤井優花さん

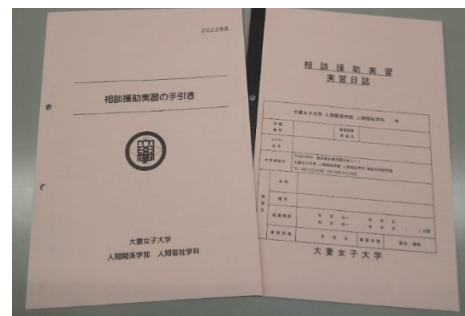
藤井さんは、本年8～9月に神奈川県内の障害者施設(就労継続支援A型)において、24日間の社会福祉士実習を終えました。この施設は、障害を持った方が、雇用契約を結んだ上で一定の支援のもと働くことができる福祉サービスです。藤井さんは、障害児の発達や成長に興味があり、大学での勉強をスタートさせました。それから、障害者の自立や就労に関心が高まり、地域で暮らす当事者たちの就労支援の実習を希望しました。

社会福祉士実習では、当事者や職員とともに地域に開かれたカフェで働きながら、適切なかわり方、支援の仕方を学ぶことができました。実習での経験は、学内で学んだ知識を実践へと高めることにつながりました。こうした経験は、社会福祉士国家試験を受験する際においても活かされることは間違いありません。大妻女子大学では、コロナ禍においても可能な限り実習できるよう努めています。実習先との連携のもと、丁寧で面倒見のよい指導を心掛けながら、学生と成長できるように頑張っています。

「大学での福祉の学び」

相談援助実習の紹介

3年生の夏季休暇または春季休暇に実施される「相談援助実習」は、地域社会の児童・高齢・障がい・社協等の福祉現場において、実践的にソーシャルワークを学ぶことができる授業です。現場実習では、通算180時間以上の体験を通して、学生一人ひとりがこれまで学んできた専門分野に関する援助技術の専門知識・技術を確認することができます。学生達は、自分の関心のある福祉分野を選び、事前指導において実習計画を立て、現場に臨みます。同時に現場からは、将来のソーシャルワーカー(社会福祉士)として貢献できる人材になれるか、その資質や能力を評価されるやりがいのある学びとなります。



【実習の手引き・実習日誌】

また、本学科には現場実習で役立つ教材等と共に人間福祉実習指導室があります。ここでは、全ての学生が何時でも利用できる社会福祉士養成等に必要テキストや参考書・DVDがあります。そして、安心して実践現場で学習出来るように助教等から社会福祉士をはじめ精神保健福祉士、介護福祉士に関する様々な福祉実習に関する相談が受けられます。



【人間福祉実習指導室】